

2014年5月31日 13時-16時

第2回周術期危機管理セミナー@大阪医科大学中央手術室

—循環管理編— 報告書

大阪医科大学麻酔科学教室助教 駒澤伸泰
(医療技能シミュレーション室副室長)

今回、麻酔科医、初期臨床研修医、手術部看護師が参加した周術期医療チームとしての循環管理トレーニングセミナーを実施しましたのでその概要を紹介します。これは2013年12月7日の第一回周術期危機管理セミナーの2回目となります。

セミナーは2014年5月31日に大阪医科大学附属病院で開催し、麻酔科医7名、当院手術室看護師11名、北摂総合病院、第一東和会病院の看護師9名も参加されました(合計27名)。コメンテーターとして、南教授にも参加をいただきました。インストラクターは私駒澤と藤原俊介助教(医療プロフェッショナル支援室副室長)大地史広助教(准)が勤めさせていただきました。

このセミナーを開催した目的は大量出血症例、悪性高熱症などの手術室で起こりうる循環危機に対し、手術室スタッフとのチームワークを大切に、訓練を行うことです。

手術室内で院内受講者を対象とした気道管理セミナーの内容は、①循環の基礎と麻酔中のモニタリングの意義、②大量出血ガイドラインの解説と実地的訓練、③その他、悪性高熱症などの手術室で起こりうる循環危機をシミュレーターを用いてトレーニングしました。

実際の手術室で麻酔科医と看護師協力して常に発生しうる循環危機へ対応する能力の向上と評価が重要です。実際の手術室や麻酔器を使用することでシミュレーショントレーニングの臨場感が得られ、緊急時対応能力向上に寄与すると考えます。

開会の挨拶 澤井俊幸 麻醉科学教室准教授



循環の基礎と麻酔モニタリングについての講義 (大地先生)

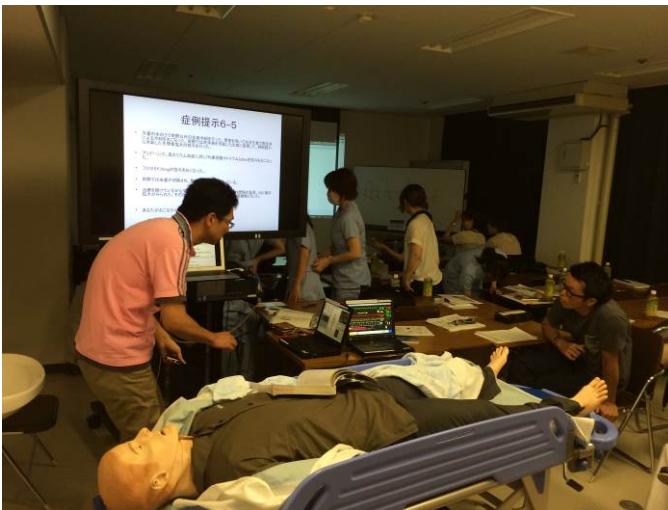


日常臨床における循環に対する疑問点のディスカッション

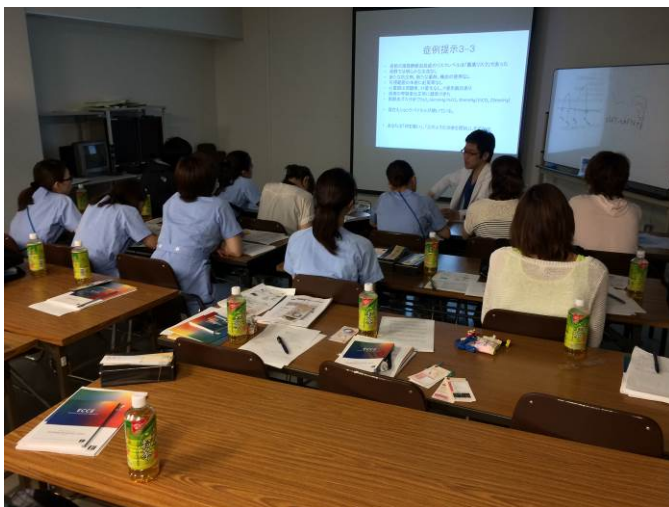




シミュレーターを用いた訓練



シナリオベースでのディスカッション



藤原俊介医療プロフェッショナル支援室副室長によるコメント



田中源重第一東和会病院麻酔科部長による総括



集合写真

